

特 定 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	介護支援専門員更新研修(実務経験者 専門Ⅱ相当)				
実施方法	①(通学) (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	3022003	—	2610043	—	8
講座の創設年月日	特定一般教育訓練給付金 対象講座の指定期間 平成29年 1月 23日	過去一 年の講 座実績	入講者数(193人)	修了者数 (192人)	
訓練期間	3ヶ月		総訓練時間	32	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル			介護支援専門員		
②①に係る資格・試験等の実施機関名称			厚生労働省		
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等			介護支援専門員証の有効期間が満了する者のうち、現介護支援専門員証の有効期間満了日までの5年間に介護支援専門員としてサービス計画の作成等に従事した経験があり、介護支援専門員証の有効期間を更新する者。		
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況			介護業界		
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開		3	配布資料等		
ケアマネジメントの実践における倫理		2	配布資料等		
リハビリテーション及び福祉用具などの活用に関する理解		2	配布資料等		
ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント		2	配布資料等		
ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント		3	配布資料、事例集等		
ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・認知症のある方及び家族などを支えるケアマネジメント		4	配布資料等		
ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント		3	配布資料、事例集等		
ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・心疾患のある方のケアマネジメント		3	配布資料、事例集等		
ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント		3	配布資料、事例集等		
ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例		3	配布資料、事例集等		
家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント		4	配布資料等		
3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等		介護支援専門員証の有効期間が満了する者のうち、現介護支援専門員証の有効期間満了日までの5年間に介護支援専門員としてサービス計画の作成等に従事した経験があり、介護支援専門員証の有効期間を更新する者。			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		介護支援専門員資格			
③その他					

〔特記事項〕

特定一般教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 前年度の修了者数	192	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	193	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	192	人	受験率(③/②)	99.5	%
④ ③のうち合格者数	192	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1		人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2		人			
<p>※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。</p> <p>※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。</p>					
(2) 受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数		人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	人			
	2 非正社員、派遣社員	人			
	3 その他の就業(自営業等)	人			
	4 非就業	人	②B: 非就業者計		
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)		
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	人			
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	人			
④ 受講後の就業形態	1 正社員	人	④A: 就業者計		
	2 非正社員、派遣社員	人			
	3 その他の就業(自営業等)	人			
	4 非就業者	人			
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)		
	2 1割以上3割未満増加した	人			
	3 1割未満増加した	人			
	4 変わらない	人			
	5 1割未満減少した	人			
	6 1割以上3割未満減少した	人			
	7 3割以上減少した	人			
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	人	⑥の回答数合計		
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人			
	3 社内外の評価が高まる	人			
	4 早期に転職・再就職できる	人			
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	人			
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	人			
	7 趣味・教養に役立つ	人			
	8 その他の効果	人			
	9 特に効果はない	人			
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	人			
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	人			
	4 就職していない	人			
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)		
	2 おおむね満足	人			
	3 どちらとも言えない	人			
	4 やや不満	人			
	5 大いに不満	人			
(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度		卒業単位をみたし卒業試験合格			
(通信制講座の場合)					

特定一般教育訓練明示書

6. 受講効果の把握方法			
(1) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率100%、試験合格率得点率70%で合格、		
(2) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たし卒業試験合格		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	演習時は各グループにファシリテーターを配置し、理解度等を確認しながら助言している。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	研修記録シートや課題の提出を課し、評価を行ったうえで基準に満たない場合は再提出を求めるなど、支援体制を整えている。 学びを実務に反映できるよう、研修記録シートを活用し実績やスキルの向上に結びつけている。		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 (代表者名: 初山昌平)		
住所及び連絡先	和歌山市手平2丁目1番2号 和歌山ビッグ愛12階		TEL 073-421-3066
施設名称及び施設長名	同上		(施設長:)
住所及び連絡先	同上		TEL
苦情受付者	氏名 片原 所属 総務部	事務担当者	氏名 宮村 所属 事務局
連絡先	TEL 073-421-3066	連絡先	TEL 073-421-3066
特定一般教育訓練経費	1. 特定一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① -) 28,500 円		
支払い方法 ① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円	
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	23,000 円 (うち、必須教材費 5,500 円)	
② 分割払	2. 特定一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0 円		
③ 両方可能	① 任意の教材費 (税込額)	0 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円	
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円	
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円	
	28,500 円		